

当院におけるフットケアの取り組み ~フットケアノートの活用を通して~

〇永易由香(ながやすゆか)¹⁾ 井元暢子¹⁾ 夏森美保¹⁾ 中村寛子¹⁾ 福富愛¹⁾ 細木貴司¹⁾ 亀田康範¹⁾ 三宅良尚¹⁾ 坂田良子¹⁾ 藤井恵子^{1,2)}平林晃¹⁾ 高杉啓一郎²⁾ 賴岡德在^{2,3)}

- 1) 医療法人社団スマイル 広島ベイクリニック
- 2) 医療法人社団スマイル 博愛クリニック
- 3)一般社団法人 広島腎臓機構



はじめに

透析患者は足病変を発生しやすく、早期発見・治療・経過観察は重要である。しかし、当院でのフットケアは全患者を5名の看護師で行っているため、情報の共有が困難である。そこで2017年4月からフットケアノート(以下ノート)を導入した。今回ノート記載を振り返り、活用が有効であったかを調査したので報告する。



対象

2017年4月~2018年3月までに在籍した 全透析患者 延べ94名(糖尿病性腎臓病40名)

方法

フットケアの際、患者カルテ中のチェックシートとは別に、 気になる情報をノートへ記入する。

チェックシートの記載項目

(日付•実施者•足背A触知•膝窩A触知•観察)

ノートへの記載項目

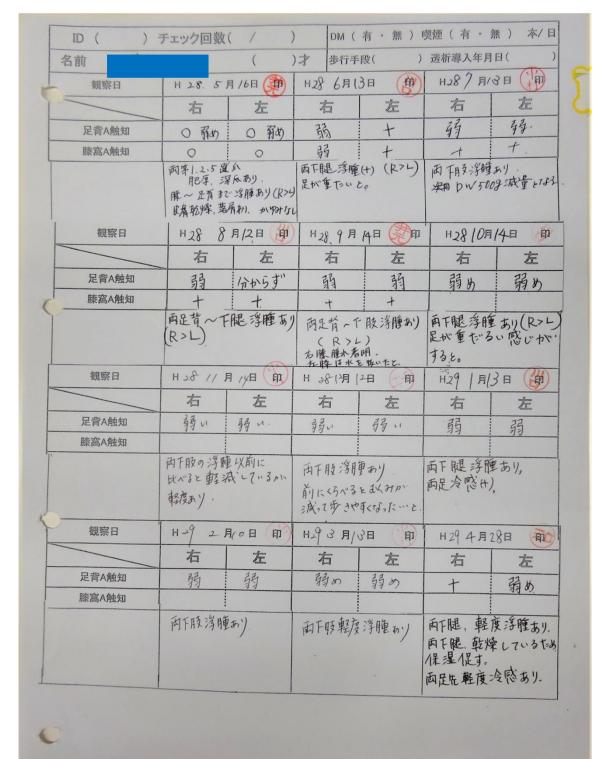
(日付・患者名・症状・処置・ドクター報告・他院紹介)

- 1年間の実績を集計する。(ノート記載の患者)
- ・透析室看護師に、ノートを1年間使用した感想を聞く。



フットケアチェック シート

2016.4月~ 全患者 毎月1回チェック





フットケアノート

日付	代名	症状	院長報告他院紹介	如置
10/17		右足背、うすく内出血あり、そののの	フットケア	11/8
711	14	たないだからある」と。	用紙 7" 報告	内出血症状
		打撲の覚えばない。	(11)	满朱の對.
		足惠先个指先。全体的に	19 41 14	19/17-1-17:
THE R. P.		赤くなっている。	what had	张为.
10/20	镁			与物の気管を
		(4) 浸土液取)、趾間 (3ついている	かりまる用紙で	1923年11年相談。
		all the state of t	報告	加加加
		製物 起的感觉打心水。		知光の話で
		じんじん あると	10/30 日月往	
		自宅で足治はしんではまなけい。	九人人民	
		消毒と繋だけ達っていると。	11/1 TAB 25-1.	以此是年的司
10/26	R	右第2、3 节 日色(波力,注"小!)	A) St 2	
		3+5 18+ 1±. 1 mm (5" <12" 4 5")	をなって.	
		自电心,如是我们们了的		
		是養は、がれてう無		
		+ int, 2113と、		
1811/2	株	の部分 かっすらじつつをに		1-2WZ"
		りなっています。(関野部分)	クットケア 用紙で	
		度	院長に報告	
		横幅立の靴をに変更を	170	消失力料。
7		たえてみては?となえてます。		19月7-143年3
11/8	様	左親指先 時々痛みあり。	用紙7"	N-0
		少し赤くなっている。巻爪あり、爪の	院長報告。	
		切りすぎか? しばらんかものばして	1.01010	
		もう。痛み続くようなら、皮が科		
	31/3	検討,		
1/13(19)	7	左第1年。1八月代程9	酒堂"	4
		发流,能為中、其任了。	フェ人行ではの意	聚時人
11/13(A)	12	9/8~9@11.70		
		18855	477 B3440	N11 7 4
		(80)))	101) 4	nin
1/13(月)		田足此のつけ根、黒くヤビットかい	MARST	
	様	が発になっている。 あけんで	ケートケア用紙で	#2~後
		しっかり洗って楽かろより伝える	限表1:報告。	再検します。

明订			· 注状	院長報告他院報行	处是
11/21		様	右第23趾間(3趾側)の潰瘍、 ポポットができている。痛みけり、 県町入院中は1月かで処置して	院长珍絮。	消毒, ユーヤスター
11/22		様.	いたと。 右下眼のかさぶた。中村皮ァ科で	光 酒井皮7科的 化分も受診予 院長報告,	是。
	744.81		診7もらったが、悪いものだった場合 放射線治療が必要かもいとの ことで、大きい病院で診7もらった方が	12A13	
11/25		様	よいと言われたと。 "/24 の投7科受診しておらず。 ガーゼが当たっているとピリピリするからと薬のみ塗っている。	院長診察	消毒ラヤベンカットバン
11/27 (A)		様	使力科処方の 状態確認すると、肉が少し盛,できている。来週月曜に皮力科の予定。 雨足解趾のつけ根、黒くかじりほで なっている状態 → 軽減している。 万級も清客に保ち薬めるよう		通常なりつかけりがし、現場に入る。
12/1		*	伝える。 左第一趾八のつけ根に赤く、 やを腫れている。 先月より悪化していると 本人を預みなし、 浸出液なし	院長診察、	中村はフチャイなりとなる
			巻主ルガ* 黴 ひどく くいうみ あり		大田安かは中で をいるまでは「とうり」 をは存むなにくりり するに 石田の にった。 いる第一からは しているうかには 大丈夫り
12/6	7	镁	右下眼のかけぶた、気になり、はがろうといて出血あり、	院長診察。	消毒、ザンタシンヤットバン
12/9		株	右くるぶし、傷ができて、潰瘍化。 浸出液あり、	院長診察, 皮1科紹介,	消毒、ゲーベン、シルナーポース。
			NIEBU III	皮フ科は私が、下外る時に再発的で たいときれかた とりです	外。(时代设计) 每款。下个列头处。 旧2回处是(体人) 外。个作2处是 粉雅器(2 10 极 用模



結果 1

1年間の実績

• ノート記載症例 43件

•他院紹介 25/43件(皮膚科•循環器科)

• 改善• 完治 31/43件

•治療中(通院•入院) 12件(下肢切断2名)



結果 2

透析室看護師の感想

- スタッフ間での情報交換がしやすくなった。
- 患者への対応がスムーズになり、他院紹介がしやすくなった。
- 経過観察が確実に行え、統一した処置ができるようになった。
- •カルテを開かなくても足病変のある患者がわかりやすくなった。
- ノートに詳細を記載することにより、不備なく確認ができ迅速に対応できた。
- 治療の経過を写真で残しておけば、さらにわかりやすくなると思う。

以上のように好評な感想が多かった。

考察

ノートが全スタッフに好評であった理由として、一冊で足病変のある患者を把握でき、スタッフ間で話し合う機会が増えたことが考えられる。それによりドクター報告、確実な処置、他院紹介がスムーズに行われ、足病変の悪化を防ぎ、改善・完治に導くことができたからと思われる。

しかし2名の下肢切断に陥るケースもあったため、状態を理解してもらえるような指導の工夫が必要と考える。

今後はノートがよりわかりやすいものとなるように、写真 も加えて活用をして行きたい。



結語

フットケアノートは、継続看護していく上で必要と考える。

第27回中国腎不全研究会 COI開示

筆頭発表者名 永易 由香

演題発表に関連し、 開示すべきCOI関係にある企業などはありません。